

令和 2 年 度

事 業 報 告 書

令和2年度 事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、重点事業に位置付けた「地域支え合い活動の推進」、「権利擁護の推進」、「多様なボランティア活動の推進」を中心に、各種事業に取り組みました。

「地域支え合い活動の推進」については、地域福祉活動の推進母体である15地区の地区地域福祉推進委員会に対する支援を行うとともに、地域福祉コーディネーターは、個別支援・地域支援に取り組み、また、生活支援コーディネーターとして、地域の中で住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりや居場所づくり等の推進に努めました。

「権利擁護の推進」については、厚木市権利擁護支援センター事業として、成年後見相談や終活相談の実施など高齢者等の支援を行うとともに、成年後見制度の広報啓発や相談機能の充実に努め、制度がより身近なものとなるように取り組みました。また、日常生活自立支援事業では、判断能力が十分でない高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用手続きの支援や金銭管理等を行いました。

「多様なボランティア活動の推進」については、地域福祉の一翼を担うボランティア活動の活性化のため、ボランティア情報の提供に努めました。また、地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、地区地域福祉推進委員会と共催で「地域ボランティア養成講座」を開催しました。さらに、災害救援ボランティア支援センターの運営については、厚木市と連携し、新型コロナウイルス感染流行下においても円滑に運営できるよう訓練を実施しました。

これら重点事業のほか各種事業については、行政や福祉関係機関等との連携・調整を図りながら効果的かつ効率的な事業の実施に努めたほか、フェイスブックによる情報発信や賛助会員への加入促進のため、本会事業への理解を深めていただく取組を行いました。

また、「地域包括ケア社会の実現に向けた行動計画」としての性格を有する地域福祉活動計画（第6次）を策定しました。この計画では、新たな基本理念を市と共通の「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」と定め、7つの活動目標を掲げて、だれもが困ったときには相談ができ、住民同士が支え合い、安心して生活できる地域づくりに取り組むこととしています。

重点事業及び各種事業の実施状況については、次のとおりです。

1 法人事業

(1) 法人運営事業【130,151,504円】

ア 法人運営に係る会議等の開催

(ア) 理事会

| | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 開催日 | 令和2年 6月10日 (水) |
| | 場所 | 厚木市保健福祉センター |
| | 出席者 | 理事9人、監事2人 |
| | 審議事項等 | (1) 議案第1号 令和元年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (2) 議案第2号 令和元年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (3) 議案第3号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員の選任について (4) 議案第4号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任候補者の推薦について (5) 議案第5号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の招集について (6) 議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について (7) 報告事項1 地域福祉活動計画(第5次)の実施状況について (8) 報告事項2 職務執行状況報告について (9) 報告事項3 新型コロナウイルス感染症に関する事業等の対応について |
| 2 | 開催日 | 令和2年12月 4日 (金) |
| | 場所 | 厚木市保健福祉センター |
| | 出席者 | 理事10人、監事2人 |
| | 審議事項等 | (1) 報告第1号 専決処分の報告について (令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第1号)について) (2) 第6次厚木市社会福祉協議会地域福祉活動計画(素案)について (3) 報告事項1 新型コロナウイルス感染症に関する事業等の対応について |
| 3 | 決議があったものとみなされた日 | 令和3年 2月28日 (日) |
| | 決議方法 | 定款第30条第2項の規定に基づく決議 |
| | 同意書及び確認書の提出者 | 同意書: 理事10人 確認書: 監事2人 |
| | 審議事項 | (1) 議案第7号 地域福祉活動計画について |

| | | |
|------|--------------------|---|
| 4 | 開催日 | 令和3年 3月17日 (水) |
| | 場 所 | 厚木市保健福祉センター |
| | 出席者 | 理事10人、監事1人 |
| | 審議事項等 | <p>(1)報告第2号 専決処分の報告について (令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第2号)について)</p> <p>(2)議案第8号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 就業規程等の一部を改正する規程について</p> <p>(3)議案第9号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について</p> <p>(4)議案第10号 役員等賠償補償保険の加入について</p> <p>(5)議案第11号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について</p> <p>(6)議案第12号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 経営計画について</p> <p>(7)議案第13号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について</p> <p>(8)議案第14号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について</p> <p>(9)議案第15号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事の候補者について</p> <p>(10)議案第16号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について</p> |
| | 決議があったものとみなされた日 | 令和3年 3月29日 (月) |
| 決議方法 | 定款第30条第2項の規定に基づく決議 | |
| 5 | 同意書提出者 | 理事10人 |
| | 確認者 | 監事2人 |
| | 審議事項 | (1)議案第17号 常務理事の選定について |

(イ) 評 議 員 会

| | | |
|---|-------|---|
| 1 | 開 催 日 | 令和2年 6月29日(月) |
| | 場 所 | 厚木市保健福祉センター |
| | 出 席 者 | 評議員18人、監事2人 |
| | 審議事項等 | (1)議案第1号 令和元年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (2)議案第2号 令和元年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (3)報告事項1 地域福祉活動計画(第5次)の実施状況について (4)報告事項2 新型コロナウイルス感染症に関する事業等の対応について |
| 2 | 開 催 日 | 令和3年 3月26日(金) |
| | 場 所 | 厚木市保健福祉センター |
| | 出 席 者 | 評議員17人 |
| | 審議事項等 | (1)報告第1号 専決処分の報告について (令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正 予算(第1号)について) (2)報告第2号 専決処分の報告について (令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正 予算(第2号)について) (3)議案第3号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について (4)議案第4号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画につ いて (5)議案第5号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算に ついて (6)議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事の選任について (7)報告事項1 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 地域福祉活動計画につ いて (8)報告事項2 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 経営計画について |

(ウ) 監 査

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 開 催 日 | 令和2年 5月15日(金) |
| 場 所 | 厚木市保健福祉センター |
| 出 席 者 | 監事2人 |
| 監査事項 | (1)理事の業務執行の状況について (2)法人の財産の状況について |

イ 役員等研修会

県央都市社会福祉協議会連絡協議会が開催する役員研修会に参加しました。

開催日 令和2年11月16日(月)
 会場 綾瀬市オーエンス文化会館
 内容 「社会福祉協議会を取り巻く現状と将来」
 講師 KT福祉研究所 所長 松藤 和正 氏

ウ 会員募集運動

一般会員会費と賛助会員会費を合わせた納入総額 18,741,429円

(ア) 一般会員会費 605,000円

第1種会員から第7種会員の合計121団体の一般会員会費(@5,000円)

(イ) 賛助会員会費 18,136,429円

a 個人 自治会を通して各世帯に賛助会員会費の納入を依頼(@500円)

b 法人 ダイレクトメールにより各法人に賛助会員会費の納入を依頼(@1,000円)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、加入募集期間を延長しました。

賛助会員会費の実績

(単位：円)

(単位：世帯、法人)

| 地区名 | 会 費 | | 会費合計 | 会員数 | | 会員合計 |
|------|------------|-----------|------------|--------|-----|--------|
| | 世 帯 | 法 人 | | 世帯数 | 法人数 | |
| 厚木北 | 953,350 | 488,790 | 1,442,140 | 5,429 | 107 | 5,536 |
| 厚木南 | 1,051,500 | 262,560 | 1,314,060 | 3,550 | 40 | 3,590 |
| 依知北 | 1,038,110 | 194,560 | 1,232,670 | 3,698 | 44 | 3,742 |
| 依知南 | 828,500 | 134,000 | 962,500 | 2,478 | 31 | 2,509 |
| 睦合北 | 636,500 | 123,000 | 759,500 | 2,080 | 16 | 2,096 |
| 睦合南 | 991,180 | 119,000 | 1,110,180 | 5,150 | 34 | 5,184 |
| 睦合西 | 809,850 | 103,000 | 912,850 | 2,807 | 19 | 2,826 |
| 荻野 | 1,779,940 | 150,450 | 1,930,390 | 5,543 | 33 | 5,576 |
| 小鮎 | 1,469,500 | 119,000 | 1,588,500 | 3,421 | 26 | 3,447 |
| 南毛利 | 2,471,642 | 169,010 | 2,640,652 | 9,338 | 49 | 9,387 |
| 南毛利南 | 985,850 | 123,000 | 1,108,850 | 2,728 | 30 | 2,758 |
| 玉川 | 446,000 | 88,000 | 534,000 | 939 | 17 | 956 |
| 森の里 | 615,693 | 3,000 | 618,693 | 2,085 | 1 | 2,086 |
| 相川 | 1,196,250 | 263,900 | 1,460,150 | 3,622 | 56 | 3,678 |
| 緑ヶ丘 | 504,844 | 16,450 | 521,294 | 1,630 | 6 | 1,636 |
| 合計 | 15,778,709 | 2,357,720 | 18,136,429 | 54,498 | 509 | 55,007 |

エ 事務局の管理運営等

(ア) 事務局の管理運営

文書の処理、人事管理、経理及び財産の管理等を行い、事務局の円滑な管理運営に努めました。

(イ) 月次巡回監査等の実施

「厚生労働省」社会福祉法人審査基準（第3の6の(1)）に基づく、専門家による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援の趣旨に基づき、西迫会計事務所と社会福祉法人経理支援業務委託契約を締結し、月次巡回監査等を実施しました。

結果 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書（本書107ページ）のとおり

オ 職員研修

神奈川県社会福祉協議会や福祉関係機関等による研修を職員が受講しました。

- 6月 日常生活自立支援事業研修
- 7月 内部職員研修①、法人後見担当者研修
- 8月 内部職員研修②
- 9月 新任職員研修、中核機関・市町村成年後見担当職員研修会、法人後見研修、意思決定支援研修
- 10月 成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎編）、内部職員研修③、セーフコミュニティ対策委員会等合同研修会
- 12月 成年後見制度利用促進体制整備研修（応用編）、日常生活自立支援事業管理監督者研修
- 1月 生活支援コーディネーターフォローアップ研修、スーパーバイザー研修、成年後見制度利用促進・権利擁護ネットワークオンライン講座
- 2月 新任職員研修、スーパーバイザー研修
- 3月 権利擁護任意後見制度研修、スーパーバイザー研修、市町村社協部会研修会、災害ボランティアセンター運営研修

カ 県央都市社会福祉協議会連絡協議会

県央都市社協連絡協議会へ参加し、情報交換、調査研究を行いました。

(ア) 幹事会

- 開催日 令和2年8月14日(金) ※資料送付による。
- 内容 令和2年度総会の事前協議

(イ) 総会

- 開催日 令和2年8月26日(水)
- 場所 綾瀬市保健福祉プラザ
- 内容 令和元年度事業報告及び決算、令和2年度役員選任、令和2年度事業計画及び予算について

(ウ) 幹部職員会

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

(エ) 会長会・幹事会 合同会議

- 開催日 令和3年3月26日(金)
- 会場 綾瀬市立中央公民館
- 内容 令和2年度事業報告(案)、令和3年度の事業の方向性、県央都市社協役員の輪番、市町村社協部会役員選出について

(オ) 課題別職員情報交換会

令和3年2月18日(木)、26日(金)に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

(カ) 役員対象研究会【再掲】

開催日 令和2年11月16日(月)
会 場 綾瀬市オーエンス文化会館
内 容 テーマ「社会福祉協議会を取り巻く現状と将来」
講 師 KT福祉研究所 所長 松藤 和生 氏

キ 社協あつぎの発行

(ア) 「社協あつぎ」第158号から第161号まで、それぞれ6月、9月、12月、3月の各15日に、4回発行しました。(自治会を通じて配布)

(イ) 広報委員会の開催

| 社協あつぎ | 開催日 | 場 所 |
|-------|---------------|-------------------------|
| 第158号 | 令和2年 5月12日(火) | 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面協議 |
| 第159号 | 令和2年 8月 5日(水) | 厚木市保健福祉センター |
| 第160号 | 令和2年11月11日(水) | 厚木市保健福祉センター |
| 第161号 | 令和3年 2月15日(月) | 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面協議 |

ク 厚木市社会福祉大会

第51回厚木市社会福祉大会(厚木市と共催)

被表彰者等 表彰 28人、感謝状贈呈 2人・8団体

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、式典の開催は中止となりました。

ケ 啓発宣伝・情報配信事業

本会ホームページなどを活用し、福祉情報の提供を行いました。また、フェイスブックにより本会の事業及び地区地域福祉推進委員会のイベント等の情報発信に努めました。

コ ふれあい基金

寄付採納件数・金額 4件 総額 550,000円

サ 善意銀行

(ア) 一般寄付

a 寄付採納件数・金額 33件 総額 1,813,272円

b 物品寄付 16件

内容 使用済み切手等

(イ) 指定寄付

a 寄付採納件数・金額 1件 総額 124,838円

用途の指定 交通遺児支援

b 物品寄付 1件

内容 もいちどペーパー(トイレトペーパー)6,000ロール

用途の指定 市内障がい者施設及び障がい者福祉事業所のために

(2) 住民福祉活動推進事業【35,529,994円】

ア 地区地域福祉推進委員会事業費の交付

15地区の地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、
総額30,467,000円を交付（別添参考資料参照）

交付金財源 賛助会員会費 7,367,000円
厚木市交付金 23,100,000円

イ 地区地域福祉推進委員会活動への助成

| | | |
|-----------------------|------|------------|
| (ア) 食事サービス助成金 | 13地区 | 560,000円 |
| (イ) 広報活動助成金 | 15地区 | 210,000円 |
| (ウ) 高齢者ミニデイサービス事業等助成金 | 15地区 | 1,500,000円 |
| (エ) 子育て支援事業助成金 | 15地区 | 480,000円 |
| (オ) 青少年ふれあい事業助成金 | 12地区 | 240,000円 |
| | 合計 | 2,990,000円 |

ウ 住民福祉活動推進事業

| | | |
|---|-------------------|-------------|
| (ア) 見守り・支え合い活動助成事業 | 10地区 | 585,000円 |
| (イ) 高齢者健康体操教室（地区地域福祉推進委員会が行う高齢者健康体操の支援） | 1地区@5,000×3回までの助成 | 6地区 85,000円 |

エ 地域福祉コーディネーター活動事業

地区地域福祉推進委員会の活動支援とともに、地域の高齢者世帯、障がい者世帯等の個別課題の発見や解決等を図るため、地域の特性に応じた支援や社会資源、地域資源の活用などをコーディネートする地域福祉コーディネーターを配置し、地域福祉の推進に努めました。

相談件数 17件 内訳 高齢者関係 5件 障がい者関係 2件
自立支援 2件 ゴミ清掃（ヘルパー派遣）1件
その他（アルコール依存、権利擁護、住宅環境等）7件

オ 地域福祉推進委員会連絡会議の開催

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

(3) 福祉活動推進事業【3,503,036円】

ア 同行援護従業者養成研修事業

福祉人材育成のため、神奈川県指定を受け同行援護従業者養成研修を実施しました。

同行援護従業者養成研修 一般課程及び応用課程 修了者 17人

| | 開催日・場所 | 内 容 |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 令和2年10月23日（金） 厚木市保健福祉センター | ・開講式 オリエンテーション 〈一般課程〉視覚障害者（児）福祉サービス 〈一般課程〉同行援護の制度と従業者の業務 〈一般課程〉障害・疾病の理解① 〈応用課程〉障害・疾病の理解② |
| 2 | 令和2年10月30日（金） 厚木市保健福祉センター | 〈一般課程〉障害者（児）の心理① 〈応用課程〉障害者（児）の心理② 〈一般課程〉同行援護の基礎知識 〈一般課程〉情報支援と情報提供 |

| | 開催日・場所 | 内 容 |
|---|---|--|
| 3 | 令和2年11月6日(金) 厚木市保健福祉センター | 〈一般課程〉代筆・代読の基礎知識 〈一般課程〉基本技能(演習) |
| 4 | 令和2年11月16日(月) 厚木市保健福祉センター 地下道 イオン厚木店 | 〈応用課程〉場面別基本技能(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) 〈一般課程〉応用技能(演習) |
| 5 | 令和2年11月30日(月) 厚木市保健福祉センター 神奈川中央交通東(株)厚木営業所 小田急線本厚木駅 相鉄線海老名駅 | 〈一般課程〉応用技能(演習) 〈応用課程〉交通機関の利用(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) ・閉講式 修了証明書授与 |

※ 講師 神奈川県視覚障害者福祉協会 鈴木 孝幸 氏、福喜多 恭子 氏
厚木市社協居宅介護事業所 小檜山季代子 氏、小池美智代 氏、
飯野 和子 氏

イ 福祉団体等助成事業

(ア) 福祉団体(9団体) 780,000円
(イ) 一般会員組織への助成(2団体) 650,000円

ウ 車いすの貸出事業

疾病やケガなどにより、一時的に車いすを必要とする方に貸出を行いました。
延べ貸出件数 114件

エ 保育園児支援事業

市内保育施設における情操教育に関する教材等の整備に対する助成金として、
総額1,274,446円を助成(47施設)

オ 福祉活動団体等の研修支援(マイクロバス運行)事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、運行はありませんでした。

カ 障害者週間啓発事業

啓発用のチラシ(「障害者週間」の紹介と併せて、障がい者を対象に活動しているボランティア団体(8団体)の紹介及び「障害者週間即売会」並びに本会に設置されている「厚木市権利擁護支援センター」の案内を掲載)を、ポケットティッシュ1,000個に挟み込み、市民に配布しました。

(4) 共同募金配分金事業【1,400,000円】

ア 男の料理教室

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

イ 障害者地域活動支援センター助成事業

障害者地域活動支援センター5事業所に対し、運営費として総額550,000円を助成

ウ 高齢者福祉施設一日体験事業の実施
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

エ 年末たすけあい事業

共同募金年末たすけあい配分金で、障害者就労継続支援B型事業所と障害者地域活動支援センターの年末事業等に、総額850,000円を助成

障害者就労継続支援B型事業所 12事業所

障害者地域活動支援センター 5事業所

(5) ボランティアセンター活動事業【6,447,482円】

ア ボランティアセンターの管理運営

(ア) ボランティア相談件数

(単位：件)

| 相談内容 | | 対応内訳 | | | | | | | | |
|------|----------------|---------|------|------|------|------|------|--------|-----|-----|
| | | 情報提供、指導 | 情報周知 | 連絡調整 | 備品貸出 | 保険説明 | 講師派遣 | 募集資材掲出 | その他 | 件数 |
| 活動相談 | ボランティアの種類、方法 | 19 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 29 |
| | 団体の活動内容、参加方法 | 3 | 1 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 15 |
| | 実習、体験相談 | 4 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 9 |
| 派遣相談 | 派遣相談 | 8 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| | 掲出依頼 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 6 |
| 活動指導 | 団体からの活動相談、指導 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 |
| | 個人からの活動相談、指導 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| その他 | 団体への活動依頼方法 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 収集ボランティア(送付先等) | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| | 各種助成金 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 備品貸出相談 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | その他の問合せ | 19 | 3 | 12 | 0 | 14 | 0 | 0 | 13 | 61 |
| 計 | | 68 | 4 | 40 | 1 | 14 | 0 | 0 | 25 | 152 |

(イ) ポスター掲示

ポスター 32枚

チラシ・パンフレット 337冊

(ウ) ボランティア活動保険

加入手続き 117件

事故処理 4件

(エ) ボランティアセンター利用状況

| 部屋名 | 利用者数(延べ人数) |
|-------|------------|
| 研修室 | 5,087人 |
| 作業室 | 1,378人 |
| 点字作成室 | 919人 |
| 録音室 | 1,877人 |
| 対面朗読室 | 1,449人 |
| 合計 | 10,710人 |

(オ) ボランティアセンター登録(令和3年3月31日現在)

団体 76団体 4,294人
個人 27人

(カ) ボランティアセンター運営委員会の開催

| | |
|------|--|
| 開催日 | 令和2年 7月 3日(金) |
| 場所 | 厚木市保健福祉センター |
| 出席者 | 10人 |
| 協議事項 | (1) 令和元年度ボランティアセンター事業報告について (2) 令和2年度ボランティアセンター事業計画について (3) ボランティアセンターへの意見について |

イ ボランティア講座の開催

(ア) 傾聴講座

令和2年11月13日～12月10日に全5回で開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

(イ) 傾聴フォローアップ研修

電話等による傾聴をテーマに、令和3年3月12日(金)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長により、次年度に延期となりました。

(ウ) 地域ボランティア養成講座

地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、地区地域福祉推進委員会と共催で地域ボランティア養成講座を開催しました。

また、睦合北地区、睦合南地区及び緑ヶ丘地区でも実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響に伴う緊急事態宣言の延長により、次年度に延期となりました。

| | |
|------|---|
| 共催地区 | 依知北地区地域福祉推進委員会 |
| 開催日 | 令和2年11月15日(日) |
| 場所 | 依知北公民館 |
| 講師 | (1) 厚木市災害救援VC運営スタッフ 野村 誠 氏 (2) あつぎ災害ボランティアネットワーク 石井 恵美子 氏、高橋 暁子 氏 |
| 参加者 | 23人 |
| 内容 | (1) 東日本大震災等当時の被災地の様子及びボランティア体験談 (2) 災害被害を少なくするために準備できること及び防災グッズの紹介 |

ウ 福祉教育推進事業

(ア) 小中学生用福祉教育推進事業

小中学校における福祉教育推進のため、体験学習の講師を派遣しました。

また、点字体験及び視覚障がい者の誘導體験については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため令和2年度は講師の派遣を中止し、車いす体験及び高齢者擬似体験については、物品貸出のみ行いました。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---------------|-----------|--------|-----------|------|-----|----|----|-----------|------|---------|----|----|-----------|------|---------|----|----|-----------|------|--|--|
| 福祉教育実施学校数 | 9校 | (小学校8校、中学校1校) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講座開催数 | 13回 | | 延べ受講児童生徒数 | 1,056人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内訳 | <table border="0"> <tr> <td>手話</td> <td>9校</td> <td>9回</td> <td>延べ受講児童生徒数</td> <td>648人</td> </tr> <tr> <td>車いす</td> <td>1校</td> <td>1回</td> <td>延べ受講児童生徒数</td> <td>121人</td> </tr> <tr> <td>高齢者擬似体験</td> <td>1校</td> <td>1回</td> <td>延べ受講児童生徒数</td> <td>121人</td> </tr> <tr> <td>認知症サポート</td> <td>2校</td> <td>2回</td> <td>延べ受講児童生徒数</td> <td>166人</td> </tr> </table> | 手話 | 9校 | 9回 | 延べ受講児童生徒数 | 648人 | 車いす | 1校 | 1回 | 延べ受講児童生徒数 | 121人 | 高齢者擬似体験 | 1校 | 1回 | 延べ受講児童生徒数 | 121人 | 認知症サポート | 2校 | 2回 | 延べ受講児童生徒数 | 166人 | | |
| | | 手話 | 9校 | 9回 | 延べ受講児童生徒数 | 648人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 車いす | 1校 | 1回 | 延べ受講児童生徒数 | 121人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 高齢者擬似体験 | 1校 | 1回 | 延べ受講児童生徒数 | 121人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認知症サポート | 2校 | 2回 | 延べ受講児童生徒数 | 166人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(イ) 市内企業・団体用福祉教育推進事業

誰もがお互いを尊重し、支え合う社会を構築するために、市内企業・団体を対象に物品の貸出を行いました。

実施企業・団体数 2団体

講座開催数 2回 延べ受講者数：25人

内容 高齢者擬似体験 2団体 2回 延べ受講者数：25人

エ ボランティアグループ等への助成

(ア) ボランティア団体活動助成金

33団体 交付総額 740,000円

(イ) 障がい者支援団体助成金

4団体 交付総額 625,837円

オ ボランティア情報の提供

ホームページ及びボランティアセンター掲示板等で情報の提供を行いました。

カ 災害ボランティア支援体制の強化

(ア) 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ向けフォローアップ研修

災害救援ボランティア支援センターの運営に係るスタッフの識見向上を図り、新型コロナウイルス感染流行下での、災害救援ボランティア支援センターの設置・運営について考えるため開催しました。

| | |
|-----|------------------------------------|
| 開催日 | 令和3年 2月13日(土) |
| 場所 | コミュニカフェLINKS(座間市) ※オンライン開催(ZOOM) |
| 講師 | 公社SL災害ボランティアネットワーク 代表理事 濱田 政宏 氏 |
| 参加者 | 10人 |

(イ) 厚木市との連携を図るため、災害救援ボランティア支援センターに関する打合せを実施しました。

| | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 令和2年 7月27日(水) |
| 場所 | 厚木市保健福祉センター |
| 出席者 | 9人 |

- (ウ) 災害救援ボランティア支援センター設置運営訓練を厚木市と連携して実施しました。

| | |
|-----|---------------------|
| 開催日 | 令和2年10月18日(日) |
| 場所 | 厚木サンパーク、厚木市保健福祉センター |
| 参加者 | 60人 |

- (エ) 協定書に基づく3者(青年会議所、厚木市、社協)に基づく情報交換会防災訓練(災害救援ボランティア支援センター設置運営訓練)の振り返り

| | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 令和2年12月15日(火) |
| 場所 | 厚木市役所第二庁舎 |
| 出席者 | 12人 |

キ ボランティア団体との共催による講座

- (ア) 夏休み親子手話教室

令和2年7月21日(火)、22日(水)、24日(金)に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

- (イ) 手話入門講座

令和3年2月2日～3月2日に全5回で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、中止となりました。

- (ウ) 福祉教育推進ボランティア養成講座

令和3年2月2日(火)、3日(水)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、中止となりました。

- (エ) パソコンサポートボランティア研修会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

- (オ) 誘導法講座

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

(6) 資金貸付事業【25,596,869円】

ア 生活福祉資金貸付事業

低所得者等の経済的自立及び安定した生活の促進を図るため生活福祉資金制度の申込受付を行いました。

| 資金の種類 | 申込件数 | 申込額 |
|-----------|--------|----------------|
| 緊急小口資金 | 7件 | 700,000円 |
| 総合支援資金 | 2件 | 657,000円 |
| 特例 緊急小口資金 | 2,134件 | 389,115,000円 |
| 特例 総合支援資金 | 2,776件 | 1,448,675,000円 |
| 教育支援資金 | 11件 | 9,394,000円 |
| 福祉資金 | 2件 | 212,000円 |
| 合計 | 4,932件 | 1,848,753,000円 |

※ 生活福祉資金の貸付金については、原則、神奈川県社会福祉協議会から借受者の口座に振込まれます。

イ 緊急援護資金貸付事業

一時的に生活に困窮し、緊急に援護が必要と認められた世帯に対し、生活資金の貸付を行いました。

| 貸付金額 | 貸付件数 | 貸付額 |
|------------------------|------|------------|
| 10,000円未満 | 13件 | 88,000円 |
| 10,000円以上 20,000円未満 | 33件 | 436,000円 |
| 20,000円以上 30,000円未満 | 47件 | 1,123,000円 |
| 30,000円 | 66件 | 1,980,000円 |
| 合計 | 159件 | 3,627,000円 |

ウ 行旅人旅費貸付事業

行旅人援護のため、旅費の一部の貸付を行いました。

(7) 在宅援護等事業【1,446,485円】

ア 移送サービス事業（ひばり号の運行）

高齢、障がいなどにより単独での移動が困難な方を対象に、有料で通院等の移送サービスを実施しました。

(単位：件)

| | 利用 件数 | 利用用途 | | 利用先 | |
|-----|----------|------|-----|-----|----|
| | | 通院 | 通院外 | 市内 | 市外 |
| 4月 | 60 | 45 | 15 | 52 | 8 |
| 5月 | 47 | 36 | 11 | 43 | 4 |
| 6月 | 20 | 15 | 5 | 17 | 3 |
| 7月 | 82 | 54 | 28 | 77 | 5 |
| 8月 | 69 | 49 | 20 | 58 | 11 |
| 9月 | 66 | 42 | 24 | 55 | 11 |
| 10月 | 68 | 52 | 16 | 55 | 13 |
| 11月 | 52 | 33 | 19 | 48 | 4 |
| 12月 | 66 | 49 | 17 | 59 | 7 |
| 1月 | 67 | 49 | 18 | 57 | 10 |
| 2月 | 53 | 40 | 13 | 44 | 9 |
| 3月 | 72 | 61 | 11 | 60 | 12 |
| 合計 | 722 | 525 | 197 | 625 | 97 |

イ あつぎしあわせライフサービス事業（有料在宅援護サービス）

高齢、障がい、疾病のほか、ひとり親家庭などにより、日常生活においてサポートを必要とする家庭に対し、市民の参加と協力により、有料で家事援助や介助などのホームヘルプサービスを提供しました。

(ア) 利用実績

(単位：人、件、時間)

| 区 分 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 高齢者 | 利用者数 | 3 | 3 | 2 | 6 | 4 | 5 | 6 | 6 | 5 | 4 | 3 | 5 | 52 |
| | 件数 | 4 | 4 | 3 | 11 | 9 | 13 | 12 | 8 | 10 | 8 | 6 | 10 | 98 |
| | 時間数 | 8 | 9 | 4 | 21 | 17 | 28 | 20 | 13 | 14 | 15 | 9 | 18 | 176 |
| 障がい者 | 利用者数 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 12 |
| | 件数 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 12 |
| | 時間数 | 3 | 0 | 4 | 2 | 7 | 2 | 3 | 5 | 3 | 3 | 0 | 4 | 36 |
| 合計 | 利用者数 | 4 | 3 | 3 | 7 | 6 | 6 | 7 | 8 | 6 | 5 | 3 | 6 | 64 |
| | 件数 | 5 | 4 | 4 | 12 | 11 | 14 | 13 | 10 | 11 | 9 | 6 | 11 | 110 |
| | 時間数 | 11 | 9 | 8 | 23 | 24 | 30 | 23 | 18 | 17 | 18 | 9 | 22 | 212 |

(イ) 利用会員登録者数 36人

(ロ) 協力会員（ヘルパー）登録者 20人

ウ 災害見舞金の支給

災害罹災世帯に対して見舞金を支給しました。

| 区 分 | 件 数 | 支 給 額 | 備 考 |
|-----|-----|----------|-----------------------|
| 全 焼 | 11件 | 280,000円 | @30,000円×6、@20,000円×5 |
| 半 壊 | 6件 | 65,000円 | @15,000円×1、@10,000円×5 |
| 死 亡 | 6件 | 180,000円 | @30,000円×6 |
| 合 計 | 23件 | 525,000円 | |

2 権利擁護支援センター

(1) 権利擁護支援事業【10,398,978円】

ア 成年後見制度の利用促進に関すること

権利擁護支援が必要な対象について、本人の状況に応じて、身近な親族及び福祉・医療・地域等関係者がチームとして関わる支援会議を開催しました。

15回

イ 厚木市成年後見制度利用促進協議会の運営

各種専門職団体や各関係機関、家庭裁判所との連携・情報交換の場として協議会を開催しました。

| 開催日・場所 | 協議事項等 |
|---|---|
| 令和2年10月28日(水) アミューあつぎ | (1)委員長及び副委員長の選任について (2)厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について (3)厚木市権利擁護支援センター中核機関の設置及び取組状況について |
| 令和3年2月17日(水) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催 | (1)申立て期間中、その間に金銭管理や身上保護等の支援が必要な場合について (2)市長申立てに際して、相談から選任されるまでの時間について (3)成年後見制度に繋げるためのアセスメントや対応手順について (4)質問事項等に対する各種専門職団体等の回答について (5)厚木市権利擁護支援センターの取組状況及び実績報告について |

ウ 中核機関の運営

(7) 広報機能

a 広報啓発

パンフレットを作成し関係機関291カ所に送付したほか、関係機関の連絡会等に出向き、厚木市権利擁護支援センターの概要を説明しました。

b 出前講座

成年後見制度の利用促進を目的に出前講座を開催しました。

| 開催日・場所 | 内容 | 参加者 |
|--------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 令和2年11月16日(月) 厚木商工会議所 | ・成年後見制度等の権利擁護について | 市内の不動産事業者及び貸主等20人 |
| 令和2年11月20日(金) 南毛利公民館 | ・厚木市権利擁護支援センターの役割について | 南毛利地区の居宅介護支援事業所ケアマネジャー17人 |
| 令和2年11月27日(金) 小鮎公民館 | ・終活について ・厚木市権利擁護支援センターの紹介 | 小鮎緑ヶ丘地区の居宅介護支援事業所ケアマネジャー15人 |

※講師 司法書士 仲居 雅光 氏、社協職員

c 成年後見制度普及啓発講座

| 開催日・場所 | 内容 | 参加者 |
|------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| 令和2年10月16日(金) 厚木市保健福祉センター | もっと身近に ～成年後見制度～ | 一般市民19人 |
| 令和2年12月15日(火) 厚木市保健福祉センター | 身寄りのない方への支援 ～支援者としてできる終活への働きかけ～ | 市内居宅介護支援事業所のケアマネージャー 21人 |

「遺言と任意後見制度」についての講座を令和3年1月27日(水)に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

※講師 司法書士 林 真吾 氏、行政書士 山田 沙耶 氏

(イ) 相談機能

- a 成年後見制度関係相談件数 728件
- b 相談支援のうち、後見人等の審判が決定された件数 12件
 - 後見類型 6件(市長申立て5件、親族申立て1件)
 - 保佐類型 5件(市長申立て3件、親族申立て1件、本人申立て1件)
 - 補助類型 1件(本人申立て1件)
- c 日常生活自立支援事業へつないだ件数 2件
- d 専門職相談

成年後見制度の利用方法や後見人等の実務に関することなど、専門職に相談できる窓口を開設しました。

(a) 弁護士による成年後見相談 毎月1回(第3木曜日) ※令和2年7月から実施
相談件数 8件

(b) 司法書士による成年後見相談 毎月2回(第2・第3水曜日)
相談件数 26件

e チーム支援アドバイザーの派遣

専門的見地から指導及び助言を仰ぐことができるアドバイザーを派遣しました。 弁護士 1件、行政書士 1件

f 横浜家庭裁判所小田原支部の調査面談

申立て手続きの支援をしたケースの調査面談3件に同行しました。

(ウ) 利用促進機能

- a 日常生活自立支援事業の利用者3人を成年後見制度へ移行しました。
- b 成年後見制度申立手続きの支援件数 66件
- c 後見人等候補者の推薦等を行うため、候補者調整会議を開催しました。

| 開催日・場所 | 協議事項 |
|------------------------------|--|
| 令和2年 7月30日(木) 厚木市保健福祉センター | (1) 市民後見人候補者名簿の登録更新に関すること (2) 法人後見活動実施状況の報告 |
| 令和2年 8月27日(木) 厚木市保健福祉センター | (1) 市民後見人追加選任申立て推薦について |
| 令和2年10月22日(木) 厚木市保健福祉センター | (1) 市長申立て候補者推薦について (2) 本人申立て候補者推薦について |

| 開催日・場所 | 協議事項 |
|------------------------------|--|
| 令和2年12月10日(木) 厚木市保健福祉センター | (1) 本人申立て候補者推薦について (2) 本人申立て候補者推薦について |
| 令和3年 3月18日(木) 厚木市役所第2庁舎 | (1) 市長申立て候補者推薦について (2) 親族申立て候補者推薦について |

(エ) 後見人等支援機能

後見人等からの相談に対して助言を行うとともに関係機関等と連絡調整をして包括的に後見人等を支援しました。

後見人からの相談 16件

エ 成年後見制度の担い手の確保に関すること

(7) 市民後見人候補登録者資質向上研修を実施しました。

| 開催日・場所 | 内容 | 参加者数 |
|-------------------------------------|---|------|
| 令和2年12月15日(火) 厚木市保健福祉センター | 身寄りのない方への支援 ～支援者としてできる終活への働きかけ～ | 3人 |
| 令和3年 1月27日(水) 自宅学習 | 成年後見制度や消費者被害等 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 動画視聴 | 6人 |
| 令和3年 3月 1日(火) ～ 3月 5日(金) 自宅学習 | 身寄りのない方の死後事務 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 動画視聴 | 5人 |
| 令和3年 3月 3日(水) | 市民後見人意見交換会(意見集約) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面開催 | 5人 |

※講師 司法書士 林 真吾 氏

(イ) 市民後見人への支援

登記事項証明書の書き方や金融機関への手続きの支援をしました。

オ 法人後見に関する相談支援

(7) 令和2年11月25日(水)

法人後見受任法人拡大について、社会福祉法人敬和会と進捗状況についての打ち合わせを実施しました。

(イ) 令和3年1月13日(水)

市内に福祉施設を有する社会福祉法人16法人を対象に「法人後見受任体制の構築」に向けた社会福祉法人による法人後見に対するアンケート調査を実施しました。

(ウ) 令和3年2月24日(水)

法人後見受任に係る横浜家庭裁判所小田原支部と社会福祉法人敬和会との事前面談に同行しました。

カ 市民後見人の選任について

- (ア) 令和2年5月8日付で、横浜家庭裁判所小田原支部から市民後見人が後見人として審判決定されました。（厚木市社会福祉協議会と複数選任）
- (イ) 令和2年12月22日付で、横浜家庭裁判所小田原支部から市民後見人が保佐人として審判決定されました。（厚木市社会福祉協議会と複数選任）

キ 法人後見の選任について

- (ア) 令和2年5月8日付で、横浜家庭裁判所小田原支部から後見人として審判決定されました。（市民後見人と複数選任）
- (イ) 令和2年11月25日付で、横浜家庭裁判所小田原支部から後見人として審判決定されました。
- (ウ) 令和3年3月16日付で、横浜家庭裁判所小田原支部から保佐人として審判決定されました。

ク 高齢者及び障がい者の虐待に関すること

- (ア) 高齢者及び障がい者の虐待等に関する相談、通報受付を実施し、関係機関と連携し支援を行いました。また、本会広報紙「社協あつぎ」やホームページ、センターパンフレットに掲載し、市民等に広報、啓発を行いました。
- (イ) 令和3年1月29日（金）に虐待防止講演会「虐待の捉え方～大切な視点とポイントとは何か～」を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

ケ 福祉総合相談

市民の日常生活における福祉に関する様々な心配事、悩み事、困り事など、あらゆる福祉問題に幅広く気軽に相談できる窓口として、「福祉総合相談」を常時、開設しました。

(単位：件)

| 相談項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
|------------|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| 福祉サービス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 子育て | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 介護 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 保険・医療 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 | |
| 財産・相続 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 家族関係 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | |
| 住宅関係 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | |
| 離職・就労関係 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 生活困窮 | 10 | 9 | 9 | 1 | 7 | 14 | 11 | 20 | 6 | 14 | 7 | 12 | 120 | |
| その他 | 23 | 3 | 12 | 6 | 4 | 8 | 15 | 6 | 5 | 4 | 9 | 10 | 105 | |
| 合計 | 37 | 12 | 25 | 11 | 11 | 26 | 30 | 31 | 12 | 18 | 16 | 24 | 253 | |
| 受 理 方 法 | 来 訪 | 21 | 8 | 12 | 6 | 7 | 15 | 16 | 18 | 8 | 11 | 13 | 14 | 149 |
| | 電 話 | 16 | 4 | 13 | 5 | 4 | 11 | 14 | 13 | 4 | 7 | 3 | 10 | 104 |

コ 終活相談

身寄りがない高齢者等が自分らしい人生の最期を迎えることができるよう適切な助言等を行うため、司法書士による終活相談を実施しました。

相談件数 17件

(2) 日常生活自立支援事業【7,225,726円】

認知症や障がいにより日常生活上の判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れなどの金銭管理や書類預かりを行い、日常生活の自立を支援しました。

ア 新規契約件数 12件

福祉サービス利用援助契約 12件

(高齢者7件、精神障がい者4件、身体障がい者1件)

イ 終了件数 7件

福祉サービス利用援助契約 7件

(高齢者6件、精神障がい者1件)

ウ 利用契約件数(令和3年3月31日現在) 44件

福祉サービス利用援助契約 44件

(高齢者15件、知的障がい者2件、精神障がい者23件、身体障がい者4件)

書類等預かりサービス利用契約 1件(精神障がい者1件)

エ 新規契約等についての内部カンファレンスの開催

| 開催日・場所 | 協議事項 |
|--|--|
| 令和2年 4月24日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催 | (1) 新規ケースについて(1件) |
| 令和2年 6月26日(金) 社協相談室 | (1) 新規ケースについて(1件) |
| 令和2年 7月27日(金) 社協相談室 | (1) 支援困難ケースについて(2件) |
| 令和2年 8月28日(金) 社協相談室 | (1) 新規ケースについて(3件) |
| 令和2年 9月18日(金) 社協相談室 | (1) 支援困難ケースについて(2件) (2) 支援計画の見直しについて(14件) |
| 令和2年10月23日(金) 社協相談室 | (1) 新規ケースについて(2件) |
| 令和2年12月 7日(月) 社協相談室 | (1) 新規ケースについて(1件) |
| 令和2年12月21日(月) 社協相談室 | (1) 新規ケースについて(1件) |

| 開催日・場所 | 協議事項 |
|------------------------|---|
| 令和3年 1月29日(金) 社協相談室 | (1) 社協内でクラスターが発生した場合の対応について (2) 次年度の契約継続、支援計画見直しの対応について (3) 次年度のケース分担について |
| 令和3年 2月19日(金) 社協相談室 | (1) 新規ケースについて(3件) |
| 令和3年 3月19日(金) 社協相談室 | (1) 新規ケースについて(1件) (1) 契約継続と支援計画見直しについて(44件) |

オ 神奈川県社会福祉協議会主催の契約締結審査会への参加

| 開催日・場所 | 協議事項 |
|-----------------------------|---------------------|
| 令和2年 8月12日(金) かながわ県民センター | (1) 審査・助言案件について(2件) |
| 令和2年11月20日(金) かながわ県民センター | (1) 審査・助言案件について(1件) |
| 令和2年12月25日(金) かながわ県民センター | (1) 審査・助言案件について(3件) |
| 令和3年 3月26日(金) かながわ県民センター | (1) 審査・助言案件について(3件) |

カ 全国社会福祉協議会主催の総合相談・生活支援事例検討会へ事例提供

| 開催日・場所 | 協議事項 |
|---|--------------|
| 令和3年 3月 8日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン会議 | (1) 事例検討(1件) |

3 居宅介護事業【6,625,023円】

障害者総合支援法における居宅介護事業所として障がい福祉サービスを提供しました。

ア 利用契約状況等（令和3年3月31日現在）

(ア) 利用契約者数 36人（視覚障がい者）

(イ) 従業者（ヘルパー） 24人

イ 令和2年度利用実績

(ア) 居宅介護事業

（単位：人、件、時間）

| 区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 家事援助 | 利用者数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| | 件数 | 8 | 7 | 9 | 8 | 8 | 6 | 9 | 8 | 7 | 6 | 7 | 91 |
| | 時間数 | 17.0 | 14.8 | 19.5 | 17.3 | 17.0 | 12.8 | 19.5 | 17.5 | 15.3 | 12.8 | 15.3 | 196.3 |
| 通院等介助 | 利用者数 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 件数 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| | 時間数 | 3.0 | 0 | 0 | 8.0 | 0 | 0 | 4.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| 合計 | 利用者数 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 16 |
| | 件数 | 9 | 7 | 9 | 10 | 8 | 6 | 10 | 8 | 7 | 6 | 7 | 97 |
| | 時間数 | 20.0 | 14.8 | 19.5 | 25.3 | 17.0 | 12.8 | 23.5 | 17.5 | 15.3 | 12.8 | 15.3 | 212.3 |

(イ) 同行援護事業

（単位：人、件、時間）

| 区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 同行援護 | 利用者数 | 19 | 21 | 23 | 23 | 20 | 20 | 24 | 21 | 24 | 23 | 23 | 264 |
| | 件数 | 87 | 65 | 90 | 120 | 99 | 107 | 110 | 110 | 124 | 103 | 106 | 1249 |
| | 時間数 | 356.5 | 230.5 | 357.0 | 488.5 | 388.0 | 425.0 | 459.0 | 476.5 | 545.0 | 423.5 | 438.5 | 5127.5 |

ウ 厚木市社協居宅介護事業所従業者研修

厚木市社協居宅介護事業所の従業者向けに、業務のレベルアップと適切なサービス提供を図ることを目的とした研修会を開催した。

| 開催日・場所 | 内容 |
|-----------------------------|--|
| ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面開催 | (1) 利用者本位の同行援護サービス (2) すべての人に対応できる同行援護の 基本とは |

※講師 NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会、神奈川県視覚障害者情報センター神奈川
ライトハウス 福喜多 恭子 氏

4 喫茶・売店事業【6,373,445円】

公益事業として、障がい者の雇用の場の確保と利用者の利便性向上のため、厚木市保健福祉センター内で、次の事業を実施しました。

ア 喫茶事業（ともしびショップの経営）

喫茶どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間159日営業

延べ利用者：1,371人

イ 売店事業（ともしびショップの経営）

売店どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間159日営業

延べ利用者：1,691人

ウ 厚木市保健福祉センター内における清涼飲料水の自動販売機の設置（6台）

5 自動販売機設置事業【728,306円】

収益事業として、市内公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、本会福祉事業の財源確保を図りました。 計61台

6 その他

不要入れ歯リサイクルボックスの設置

厚木市保健福祉センター1階 大型回収ボックス1台

厚木市老人福祉センター寿荘 小型回収ボックス1台